



2026 年 1 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社ケイファーマ
代表者名 代表取締役社長 福島 弘明
(コード：4896、東証グロース)
問合せ先 常務取締役 CFO 松本 真佐人
(TEL. 03-6629-3380)

KP2011 の共同研究者による
第 8 回日本医療研究開発大賞 日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞受賞のお知らせ

この度、当社で推進しております iPS 創薬プラットフォームを活用した iPS 創薬事業^{*1)}のリードパイプラインである KP2011（筋萎縮性側索硬化症/ALS^{*2)} 治療薬）の共同研究者である森本悟慶應義塾大学殿町先端研究教育連携スクエア特任准教授が第 8 回日本医療研究開発大賞^{*3} 日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞を受賞されましたことをお知らせいたします。

■表彰名：第 8 回日本医療研究開発大賞 日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞

■受賞タイトル：iPS 細胞創薬で見出された筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療薬候補を用いた医師主導治験と個別化医療実現に向けた橋渡し研究

■受賞のポイント：

- ・ iPS 細胞創薬により見出された筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療薬候補を用いて第 I/IIa 相医師主導治験を実施し、安全性・忍容性と疾患進行抑制効果を示すことで、iPS 細胞創薬の世界初の Proof of Concept を確立した。
- ・ 全被験者の iPS 細胞由来運動ニューロンを用いて薬剤反応性を評価、in vitro での薬剤感受性と臨床効果の相関、さらには遺伝的背景や細胞表現型との関連を明らかにし、iPS 細胞創薬に基づく個別化医療の実現可能性を提示した。
- ・ コレステロール代謝物や細胞外小胞（EV）解析を通じ、治療効果や ALS 病態と関連する新規バイオマーカー候補を同定し、トランスレーショナル（TR）・リバーstransレーショナルリサーチ（rTR）を往還する橋渡し研究モデルを構築した。

■URL：<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/suisin/amed/dai8/pdf/shiryo.pdf>

今回の受賞は、これまで森本悟慶應義塾大学殿町先端研究教育連携スクエア特任准教授が長年に渡り、当社取締役兼 CSO である岡野栄之慶應義塾大学教授とともにやってきた、iPS 細胞を活用した筋萎縮性側索硬化症（ALS）に対する研究開発の成果が高く評価されたものであり、共同研究先である当社と致しましても、より一層、国内外の患者様に一刻も早く有効な治療をお届けできるように、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療薬候補の臨床開発の取組みを推進して参ります。

なお、現時点において、本件による 2026 年 12 月期の当社の業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

(※1) iPS 創薬事業

iPS 細胞（人の皮膚や血液等の細胞に少数の因子を加え培養することで、人工的に作製される、様々な細胞に分化することができ、かつ、増殖することができる多能性幹細胞「induced pluripotent stem cell」）を活用した創薬事業

(※2) 筋萎縮性側索硬化症（ALS）について

ALS は、身体を動かす運動神経（運動ニューロン）が徐々に障害され、手足やのど、呼吸筋の筋肉がやせて力がなくなっていく進行性の難病です。ALS 患者数は、国内で約 1 万人、グローバルで約 33 万人と推測されています。

(※3) 日本医療研究開発大賞

我が国のみならず世界の医療の発展に向けて、医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して、功績を称えることにより、国民の関心と理解を深めるとともに、研究者等のインセンティブを高めることを目的として設けられたもの

以上